

# 農林水産省「農山漁村」

## 経済・生活環境創生プラットフォーム

### 第3回シンポジウム

#### 新結合で拓く地域の活性化と農山漁村の未来

会場定員

200名



3月13日(金)

13:00~18:30

@ 農林水産省7階講堂

会場参加者向けネットワーキングの機会

✓ 登壇者との交流タイムもあり

事前申し込み / ハイブリッド開催

会場参加  
定員200名

同時ライブ  
オンライン配信

お  
こ  
ん  
な  
方  
に

- ・ 新たなビジネスや協働の機会を模索されている方
- ・ 最新の農山漁村における事例を知りたい方
- ・ 農山漁村の持続可能な発展に関心をお持ちの方
- ・ 地方と都市の関わりに関心をお持ちの方 など

問い合わせ先

運営事務局：株式会社 Ridilover  
r7nousui-symposium@ridilover.jp

お申込み

右記 QR コードより  
お申込みください。  
申込締切：3/12(木) 23:59 まで



# 農林水産省「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム 第3回シンポジウム

## 13:00 開会挨拶

### オープニングセッション 農村政策と地域の未来を語る

人口減少や高齢化が先行して進む農山漁村において持続可能な地域社会を実現するため、本プラットフォームを創設し、官民共創による地域の課題解決や農山漁村の価値創造を図るための仕組みの構築等に取り組んできました。本セッションでは、農山漁村の現状・課題とこれらに対する本年度の取組を概説するとともに、地域の未来や今後の農村政策の方向性について対話を行います。



農林水産省  
農村振興局  
農村政策部長  
**河村 仁**



株式会社Ridilover  
代表取締役  
**安部 敏樹**

## 13:35



### 新制度「令和7年度農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」

農林水産省は、これまで農山漁村に関わりがなかった企業等の参入を促すため、企業等の取組を後押しできるよう、農山漁村の課題解決を目的に行われ、今後も継続することが見込まれる企業等の取組を証明する「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」制度を創設しました。本セッションでは、令和7年度の取得企業等の取組を紹介するとともに、表彰式を行います。

## 14:00 休憩

## 14:10

### インパクト×農山漁村 企業の継続的な取組に向けた環境づくり

農林水産省は上記の「取組証明書」に加え、企業等の取組が社会的・環境的な変化や効果(=インパクト)を創出していることを証明する「インパクト証明書」制度の創設を検討しています。本セッションでは、こうした証明を受けることの取得者と農山漁村それぞれにとってのメリットや、両者の継続的なwin-winの関係性づくりに向けた国の証明制度の有効な活用方法について議論します。



株式会社JTB  
ビジネスソリューション事業本部  
営業開発プロデューサー  
**井上 孝矩**



株式会社日本格付研究所  
サステナブル・ファイナンス  
評価本部評価部  
インパクト分析室長  
**川越 広志**



長島・大野・  
常松法律事務所  
パートナー 弁護士  
**宮下 優一**



ワタミ株式会社  
執行役員  
SDGs推進本部本部長  
**百瀬 則子**



Lively合同会社  
代表  
**種田 毅**  
モデレーター

## 15:00

### 休憩+現地参加者交流タイム

## 15:30

### 学生×農山漁村 学生の関わりから生まれる地域の未来

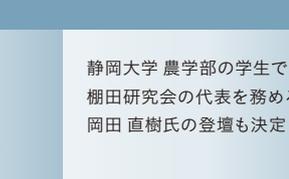
農山漁村における学生の関係人口を増やすためには、まず地域の活性化や課題解決に関心のある学生に農山漁村に目を向けてもらうことが重要です。そのうえで、これらの学生が地域へと「定着」していくためには、地域と学生がwin-winの関係となることが不可欠です。本セッションでは、農山漁村の課題解決に学生が関わることによって地域に創出されるインパクトや、学生の活動を持続可能なものにしていくための地域・企業との連携、活動を行う学生のキャリアモデルについて議論します。



東大生地方創生コンソーシアム 代表  
東京大学大学院  
農学生命科学研究科  
**田口 翔一**



学生団体rindo  
代表  
龍谷大学 社会学部  
**向原 宏一郎**



静岡大学 農学部で  
棚田研究会の代表を務める  
岡田 直樹氏の登壇も決定！



農林水産省  
農村振興局  
農村政策部長  
**河村 仁**  
モデレーター

## 16:15

### 関係省庁×農山漁村 省庁間連携で生まれる相乗効果

農山漁村は地域の一部であり、その課題解決は農村政策のみではなく、幅広い施策が必要となってきます。本セッションでは、各省庁が展開する地域の活性化や課題解決に向けた様々な施策、特に農山漁村の課題解決に関わる多様なプレイヤーに活用いただけるものを中心に紹介するとともに、相乗効果を生み出すための省庁間連携のポイントを探ります。



文部科学省 高等教育局  
大学振興課  
地域大学振興室長  
**石川 雅史**



経済産業省  
中小企業庁  
商業課長  
**伊奈 友子**



総務省  
自治行政局  
地域政策課長  
**大森 康宏**



金融庁 総合政策局 総合政策課  
サステナブルファイナンス推進室長  
(兼) チーフ・サステナブル  
ファイナンス・オフィサー  
**高岡 文訓**



農林水産省  
農村振興局  
農村活性化推進室長  
**朝日 健介**  
モデレーター

## 16:55 休憩

## 17:05

### AI×農山漁村 人口減少下におけるAIが拓く可能性

デジタル化の進んでいない農山漁村は、一方で人口減少による人手不足の影響を大きく受けることから、AI実装の場として親和性が高く、人口減少下における活性化に向けて、AI等の先端技術の活用を通じて活路を見出すことが求められています。本セッションでは、土壌の特性や栽培ノウハウ等の現場の暗黙知の継承・発展とこれらを通じた農業の生産性向上等に対するAIの可能性について、AI研究者、AIを活用している農家と生産現場で実装する技術者等を交えて議論します。



北陸先端科学  
技術大学院大学  
客員教授  
株式会社GenesisAI  
代表取締役社長CEO  
**今井 翔太**



東京大学  
農学部  
**西村 吉正**



農林水産省  
大臣官房 政策課  
技術政策室  
課長補佐  
**光廣 政男**



JAひまわり  
スプレーム部会  
地域営農ビジョン  
推進委員  
**山田 裕也**



経済産業省  
商務情報政策局  
情報技術利用促進課長  
兼 AI産業戦略室長  
**渡辺 琢也**



農林水産省  
農村振興局  
農村活性化推進室長  
**朝日 健介**  
モデレーター

## 17:50

## 全体閉会

## 18:30

### 現地参加者交流タイム

会場内の展示コーナーでは「令和7年度農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を展示、表彰式参加者との交流が行える場をご用意しています。